

バリトン
鎌田 直純

ソプラノ
駒井 ゆり子

ピアノ
岩撫 智子

詩解説
吉田 加南子
中山 慎太郎

朗読
ティエリ・マレ

12/21 2023
Thu

開演 17:30
(開場 16:45)

フランス詩と 歌曲の夕べ

楽曲と詩の解説とともに
名高いフランス歌曲の世界を
楽しむひととき

📍 会場 📍
学習院創立百周年記念会館
小講堂 (3階)

入場
無料

学習院大学学部生・院生・教職員は
事前の来場申込が不要です。

上記以外の方につきましては、
右のQRコードより、予め
来場申込をお願いいたします。



お申し込みは
こちらから

Profil des interprètes



鎌田 直純 (バリトン)

東京藝術大学卒業、同大学院修了。大学院在学中に『ベレアスとメリザンド』のベレアス役に抜擢。大学院修了後1982年渡欧。フランシスコ・ヴィニャス国際コンクール(バルセロナ)他、ヨーロッパの音楽コンクールに入賞。パリ・エコール・ノルマル音楽院首席修了。パリを中心に演奏活動後1992年帰国。オペラ『ロミオとジュリエット』、『ホフマン物語』など多数の舞台に出演。ジャン・フルネ指揮による東京都響定期『ベレアスとメリザンド』のベレアス、フォーレ『レクイエム』

のCDでバリトン・ソロを歌う。2016年は7月にフランスのラングドック地方でのセヴラック音楽祭に出演。二期会、日本フォーレ協会、二期会フランス歌曲研究会、コンセルルC、日本セヴラック協会会員。東京学芸大学名誉教授。



駒井 ゆり子 (ソプラノ)

東京音楽大学、同大学院修了。二期会オペラ研修所を優秀賞、奨励賞を得て修了。パリ・エコール・ノルマル音楽院にてコンサーティストディプロムを声楽と室内楽で審査員満場一致及び称賛付きを得て取得し、首席で修了。

全日本学生音楽コンクール第2位、長久手国際オペラ声楽コンクール第3位、モーツァルトコンクール第2位、東京音楽コンクール第2位、国際ベルヴェデーレオペラコンクール日本代表及び盛岡賞、ヴェローナオペラコンクール日本代表、国際フランス声楽コンクール特別賞等、内外のコンクールで上位入賞を果たし、トゥールーズ国際フランス歌曲コンクールでは最優秀ピアノ声楽デュオ賞を受賞。

文化庁海外派遣研修員(パリ)。二期会フランス歌曲研究会運営委員。日本フォーレ協会会員。桐朋学園大学講師。二期会会員。



岩撫 智子 (ピアノ)

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。東京コンセルヴァトアール尚美ディプロマコース卒業。国際声楽コンクール東京公式伴奏者。伴奏者として全日本合唱コンクール全国大会金賞受賞。二期会オペラ研修所のピアニストを長期にわたり務め、現在は主に声楽・合唱とのアンサンブル・ピアニストとしてフリーで活動中。

吉田 加南子 (詩解説)

詩人、フランス文学者、学習院大学名誉教授。著書に『言葉の向こうから』(みすず書房)、『幸福論』(思潮社)、詩集『定本 闇』(思潮社/高見順賞)、『吉田加南子詩集』(思潮社)など、翻訳・編訳に『デュブーシェ詩集』(思潮社)、サガン『サラ・ベルナール』(河出書房新社)、ソニア・リキエル『祝祭』(青土社)、『愛のフランス詩集—作品に書きたい言葉—』(天来書院)、『フランス詩のひとつとき』(白水社)、共訳に『フランス詩大系』(青土社)などがある。

中山 慎太郎 (詩解説)

跡見学園女子大学専任講師、学習院大学非常勤講師。主な訳書に『私は知っている』(水声社、2019)、『クローデル小喜劇集』(共訳、水声社、2019)など、主な論文に『現代詩と写真—ジャック・レダ『パリの廃墟』における「写真」—』(2018)、『フランス現代詩とマラルメ—マラルメ詩学を「変質」させるジャック・デュパン—』(2020)、『死者に捧げる詩の言葉—フィリップ・ジャコテの場合—』(2021)、『シャンソン・パルレ—ジャン・コクトーの詩学における詩と音楽』(2023)などがある。

ティエリ・マレ (朗読)

高等師範学校卒業。作家、学習院大学教授。専門は、演劇全般。小説に、『L'Heure sainte』(Galimard, 1991)、『La Rencontre aux enfers』(Galimard, 1992)、『L'Amour de loin』(Galimard, 1994)、エッセーに、『Lettres édifiantes et curieuses du Japon』(ELYTIS, 2019)、訳書に、『ヴァレール・ノヴァリナ『紅の起源』(れんが書房新社、2013)などがある。

Programme

※ 途中、休憩があります

※ 曲目、曲順が変更になる場合がございます

※ 当日は詩の原文・翻訳をお渡しいたします

第1部—作曲家による詩の解釈

Paul Verlaine ポール・ヴェルレーヌ

— C'est l'extase langoureuse... [それはものうい恍惚.....]

1. Gabriel Fauré ガブリエル・フォーレ

C'est l'extase 「それは恍惚」

2. Claude Debussy クロード・ドビュッシー

C'est l'extase 「それは恍惚」

3. Charles Camille Saint-Saëns

シャルル・カミーユ・サン＝サーンス

Le vent dans la plaine 「野をわたる風」

Paul Verlaine ポール・ヴェルレーヌ

— Le ciel est, par-dessus le toit... [空は屋根の上で.....]

4. Gabriel Fauré ガブリエル・フォーレ

Prison 「牢獄」

5. Reynaldo Hahn レイナルド・アーン

D'une prison 「牢獄から」

6. Déodat de Séverac デオダ・ド・セヴラック

Le ciel est, par-dessus le toit

Stéphane Mallarmé ステファヌ・マラルメ

— Placet futile 「とるに足らぬ請願」

7. Claude Debussy クロード・ドビュッシー

8. Maurice Ravel モーリス・ラヴェル

第2部—15、16世紀の詩の響き

Charles d'Orléans シャルル・ドルレアン

— Le temps a laissé son manteau [時は脱ぎ去った.....]

9. Claude Debussy クロード・ドビュッシー

François Villon フランソワ・ヴィヨン

— Ballade que Villon fait à la requeste de sa mère pour prier Notre-Dame

「母の求めにより聖母に祈らんとてつくれるバラード」

10. Claude Debussy クロード・ドビュッシー

Pierre de Ronsard ピエール・ド・ロンサール

— À son âme 「己が魂に」

11. Maurice Ravel モーリス・ラヴェル

Ronsard à son âme 「ロンサールここに眠る」

フランス詩と歌曲の夕べ

主催：学習院大学文学部フランス語圏文化学科

共催：学習院大学文学会

問い合わせ先

学習院大学文学部フランス語圏文化学科

[URL] <http://fr-gakushuin.jp/>

[Twitter] @fr_gakushuin



アクセス

●JR山手線 目白駅下車すぐ

●東京メトロ副都心線 雑司が谷駅下車 徒歩約7分